

道徳のひろば ⑮

第2回「心きらり道徳教育参観日」

「第2回 心きらり（道徳教育）参観日」には、平日にも関わらずたくさんの保護者の方、地域の方々にご来校いただきました。授業参観、全校集会で頑張っている姿を観ていただき、子ども達は大きな喜びを感じるとともに大きな自信に繋がったと思います。

参観授業は、1年から6年まで、各学級で発達段階に沿った道徳の授業を行いました。どの様に感じられたでしょうか。

全体集会の作文発表では、今年度は低学年（いつも楽しいやさしいお母さん）・中学年（カッコいいお母さん）・高学年（ありがとう）と、全てがお母さんに対する思いの発表と心から「おかあさん」を思い慕う心を会場の皆に伝えてくれました。子どもにとって「母」の影響力は本当に強いものだと感じました。また、子ども達は、お父さん、おじいちゃん、おばあちゃん・・・と、家族の皆さんの姿、そして生き方をよく見ていることも感じました。私たち大人も意識をしっかりと持たなければなりませんね。

音楽発表では、全校で歌った「変わらないもの」、4・5・6年生が歌った「U&I」「生命が羽ばたくとき」は心に響きました。そして、重唱「つばめのように」、クラリネットの重奏「メヌエット」もジーンとききました。鼓笛隊の合奏「Tomorrow」「銀河鉄道999」は迫力満点で、いつも素晴らしい演奏をしてくれます。

本校は教育目標「ゆたかで かしく たくましく」の具現化のため、音楽教育を情操教育の一環と捉え音楽の授業は勿論のこと、朝の会や音楽朝会、鼓笛隊の活動など出来る限り時間を使って取り組んでいます。また、幼少期の音楽教育は人間形成の土台づくりとなると考えています。ですから、子ども達は日々、きれいな歌声、きれいな言葉で表現していると心もポジティブになり、豊かな心が磨かれると思います。

しかし、このような素晴らしい発表の裏には、一人ひとりが真面目に練習してきた日々の積み重ね（過程）があります。これまで、一所懸命に練習してきた一コマ一コマを思い浮かべると熱いものがこみ上げてきます。子どもの持っている潜在能力は無限です。磨けばいくらでも輝きます。そのためには子どもに関わる大人（指導者）の力が大きく影響します。ですから、私達教師は、常に初心にかえり教育者としての力量を高めるとともに、教師としての指導力を身につけるために教職員と互いに切磋琢磨しながら学び続けることが大切です。

全体発表が終わって、今年も数人の方からとても良かったと声をかけていただきました。子どもも大人も褒められることがあれば嬉しくて、どんな事でも頑張れそうな気がします。また、学年懇談会では「高知の道徳」を使っただの話し合いにも参加いただきありがとうございました。

最後に、平成28・29年度の2年間、高知県教育委員会から「道徳科研究指定校事業」の研究指定を受けた関係で年間2回の道徳教育参観日を実施しました。平日の多忙さを考えると保護者の皆様には平日に、しかも年間2回設けることは申し訳ない思いでした。しかし、私たちが予想していた以上の出席をいただきました。保護者の方や、地域の方々の教育に対



する熱心さが伝わってきます。本当にありがとうございました。